

令和5年度 事務事業評価シート（1）

[令和4年度事務事業]

一般会計				事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	障害者福祉施設整備補助			事業番号	011-133
担当部署名	健康福祉	局	障害福祉	部	障害支援

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本計画 2025	施策との関連	有・無	戦略	2.人生100年時代の健康・福祉 ～Well-being～	施策	(5) 障害者が生きがいを持って心豊かに暮らせる社会の実現
		寄与するKPI	有	取組の方向性	②障害者の暮らしの場の確保		
	堺市SDGs 未来都市計画	施策との関連	有・無	指標名	—		
		寄与するKPI	無	現状値	—	目標値	—

2	関連計画	第4次堺市障害者長期計画、第6期堺市障害福祉計画、第2期堺市障害児福祉計画			
3	事業開始年度	平成 9 年度	点検対象年度	令和 7 年度	
4	実施根拠 (根拠法令、条例等)	社会福祉施設等施設整備費国庫補助金交付要綱、堺市社会福祉施設等施設整備費補助金交付要綱、堺市障害者グループホーム整備促進事業補助金交付要綱			

事業の概要

5	事業の実施主体 (実施主体となる団体等)	本庁			
6	事業の対象 (対象とする人や物、対象数)	堺市内でグループホーム等を整備する社会福祉法人、NPO法人、営利法人等	対象数	303	
7	事業の目的 (事業実施によりめざす状態)	グループホームの整備を促進することにより、障害者の地域生活への移行と生活基盤の確保を図るため、国庫補助による施設整備に併せて、整備加算や初度設備に対し補助を行う。また、既存施設において大規模修繕を進めることにより、施設利用者の安全の確保を図る。			
8	事業内容 (目的を達成するための手段) ※スケジュール、実施方法・手段、事業規模・回数など	① 社会福祉施設等施設整備費補助金【国庫補助】(補助率：国1/2、市1/4) ・スプリンクラー整備 1件 ・換気設備、間仕切り工事 3件 ② 障害者グループホーム整備促進事業補助金【市単独補助】 ・施設整備(国庫整備に併せて加算、補助率 10/10) 0件			
	※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載	重度障害者を受け入れるグループホームの整備を促進するため、グループホームの創設事業として、国庫補助金の交付決定を受けた社会福祉法人等に対して、スプリンクラー設備等に係る経費を補助 (補助率10/10) ① スプリンクラー設備及び非常用自家発電設備を設置する場合 12,000千円(上限) ② スプリンクラー設備を設置する場合 5,000千円(上限)			
9	主な支出先(委託・補助金・負担金等)	堺市内の障害福祉サービス事業所 等			
10	公民連携・協働事業				

II. 事業目的の達成状況

事業の成果や活動実績の測定

11	成果指標(目的の達成状況を測定)	単位	実績		目標	目標 点検対象年度
	補助金交付により、新たに増加したグループホームの定員数	人	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和7年度
			目標値	—	—	—
			実績値	48	0	—
達成率	—	—	—	—		
	当該指標を選定した理由	グループホームの利用者の増加を目的とする事業であるため。				
	目標値の設定根拠・算出方法	事業の性質上、数値化した目標の設定は困難であるため、目標値の設定は行わない。				
12	活動指標(成果を上げるための手段)	単位	実績		目標	
	グループホームの創設として、補助金を交付した件数(初度設備含む(R3年度終了))	件	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
			目標値	—	—	—
			実績値	10	0	—
達成率	—	—	—	—		
	当該指標を選定した理由	グループホームの利用者の増加を目的とする事業であるため。				
	目標値の設定根拠・算出方法	事業の性質上、数値化した目標の設定は困難であるため、目標値の設定は行わない。				

令和5年度 事務事業評価シート（2）

事務事業名	障害者福祉施設整備補助	事業番号	011-133
-------	-------------	------	---------

Ⅲ. 投入量

事業コスト

※当初予算には、前年度からの繰越分を含む。 (単位：千円)

項目	令和2年度	令和3年度	令和4年度		令和5年度
	決算	決算	当初予算	決算	当初予算
事業費 (a)	115,796	36,142	75,590	9,896	82,500
13 財源内訳					
国支出金	81,674	20,973	41,393	6,595	50,333
府支出金	19		0		0
市債	25,100	10,700	27,300	1,700	25,600
その他 (基金繰入金)			6,897	1,601	0
受益者負担金(使用料、手数料等)			0		0
一般財源	9,003	4,469	0	0	6,567
14 人件費 (b)	4,100	4,100	4,100	4,100	4,050
15 年間経費(c)=(a)+(b)	119,896	40,242	79,690	13,996	86,550

事業費の内訳

(単位：千円)

項目	年度	事業費	うち一般財源	項目	年度		事業費	うち一般財源
					R4	R5		
16 事業費内訳	障害者福祉施設整備補助金(国庫補助金を伴うもの)	R4 決算	9,896	0		R4	決算	
		R5 予算	75,500	5,167		R5	予算	
	障害者福祉施設整備補助金(市単独)	R4 決算	0	0		R4	決算	
		R5 予算	7,000	1,400		R5	予算	
		R4 決算				R4	決算	
		R5 予算				R5	予算	
		R4 決算				R4	決算	
		R5 予算				R5	予算	
	R4 決算				R4	決算		

Ⅳ. 事業の効率性

単位当たり経費

区分	単位	令和3年度	令和4年度
17 ① 整備したグループホームの定員数	人	48	0
② 上記①にかかる年間経費	千円	40,242	13,996
③ 単位当たり経費 (②÷①×1,000円)	円/単位	838,375	
備考 (算出についての説明等)			

Ⅴ. 評価

費用対効果に係る所見

18 単位当たり経費の基礎となる決算額については、補助事業の内容（創設、大規模修繕、初度設備等（初度設備については、R3年度末にて事業終了））や件数により、毎年変動することから、単位当たり経費も毎年増減している。令和4年度までは、グループホームでの新型コロナのクラスター等があり、創設の意向がなかったためグループホームの定員数の増加にはつながらなかったが、スプリンクラーの設置により重度障害者の方を多数ケアできる体制のグループホームを整備できた。

重度障害者を受け入れるグループホームの整備が進むよう、市単独での補助を行っているが、これまでも市の負担を軽減するために補助基準額や補助率の見直しを行っており、妥当であると考えている。

KPI等への寄与（基本計画等のKPI・取組の方向性や事業の目的の達成にどのように寄与したか）

19 本事業は、障害者の高齢化・重度化や家族など介護者の高齢化が進む中、グループホームの整備を促進することにより、障害者の地域生活への移行と生活基盤の確保を図るため、国庫補助による施設整備に併せて、整備加算や初度設備に対して補助を行っている。

また、既存施設において外部給電設備及び蓄電設備やスプリンクラー整備等の大規模修繕を進めることにより、施設利用者の安全の確保を図っており、障害者の暮らしの場の確保に寄与している。